

【新しい学びプロジェクトH24】

知識構成型ジグソー法を用いた協調学習授業 授業案

学校名： 豊後高田市立真玉中学校 授業者： 財前 由紀子  
 教材作成者： 財前 由紀子

授業日時	2012年12月14日	教科名	国語科
学年	1年	生徒数	28名
単元 (題材)	少年の日の思い出	本時/全時数	5/6

<p>対象（実施を想定する生徒の概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても素直で、授業にまじめに取り組むことができる。</li> <li>・どんなグループ編成になっても、協力して話し合いをすることができる。</li> <li>・支援が必要な生徒はいるが、グループ内で話し合いに参加することはできる。</li> </ul>
<p>授業のねらい（教科としてのねらい，前後の授業との関連，生徒に期待する学習など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の物の見方、感じ方、生き方に注目する。</li> <li>・文章に即して、人物描写を読む。</li> <li>・とらえた登場人物の関係をもとに、その後の物語を考える。</li> <li>・見方は様々あり、小説はだれかの視点で描かれていることを知る。</li> </ul>
<p>メインの課題（ジグソー活動の課題）</p> <p>「僕」が、「ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった」理由をそれぞれの視点から説明しよう。</p>
<p>期待する解答の要素（課題について子どもたちに語れてほしいストーリー）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「僕」が、収集したちょうのすべてを粉々につぶしたわけは、自分のしたことが許せなかったからである。自分がしたこととは、貴重なクジャクヤママユを手に入れたがために、凶らずも壊してしまった、自己嫌悪の感情である。</li> <li>○自分にとって劣等感しか感じさせないエーメール。事件後、さらに、軽蔑されたために、怒りのあまり、事の発端となったちょうを一つ一つつぶすことで、すべてを終わらそうとした。</li> <li>○自分のしたこととはいえ、謝罪にいったときのエーメールの態度の一つ一つに劣等感を感じ、嫌になってしまったため。</li> </ul>
<p>各エキスパート＜期待する解答の要素を満たした解答を生徒がだすために、各エキスパートで抑えてほしいポイント，そのために扱う内容・活動を書いてください＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>エキスパートA「僕とちょうはどんな関係だろう。なぜ、盗んでしまったのだろうか」</u>              ちょう集めに熱心になるあまり、日常生活のほとんどをすっぱかしてしまう少年の様子。コムラサキをめぐる様子。クジャクヤママユの四つの斑点を見て盗んでしまう表現。（ちょうの扱い方、比喩法が使われている表現に着目）</li> <li>・ <u>エキスパートB「エーメールはどんな人物か。なぜ、このような描かれ方をしているのか」</u>              「僕」の目から描かれた「エーメール」が、あらゆる点で模範少年であること。「エーメール」の、ちょう集め・手入れの仕方の技術だけは認めている点。              （エーメールのちょうの取り扱い方、持っている道具の表現、エーメールの人物像を描いた表現を選び、プラスの印象を受ける言葉・マイナスなどの印象を受ける言葉に着目）</li> <li>・ <u>エキスパートC「謝罪にいった場面で、僕とエーメールのやりとりを行動を中心に読もう。なぜ、僕は、あやまれなかったのか」</u>心の動きを読み取る。              （謝罪に行くように母にうながされて行った点。あやまることより、説明しようと試みた点、僕が壊したちょうを「見せてくれ」といった点。エーメールの言葉にかっとなってしまふ点。</li> </ul>

学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しを知る。</li> <li>・全文通読 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span>で感想を書く。</li> <li>・難しい語句を扱う。 <span style="float: right;">【一斉】</span></li> </ul>	<p>読みの支援に、範読 CD を使用する。                  わかったこと、疑問に思ったこと、                  わからなかったことを記入させる。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面分け</li> <li>・構成を読む（話者の転換・時系列）</li> <li>・初発の感想から多かった疑問「なぜ、僕はちょうを一つ一つ手でつぶしていったのか」という課題について自分の考えを書く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span></li> <li>・エキスパート・ジグソー・クロストークの方法を知る。 <span style="float: right;">【一斉】</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> 物語の伏線 客とのやりとり</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> 十歳の頃の「僕」</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> 十二歳の頃の「僕」 ちょうを盗む場面</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> 告白と謝罪・悔悟の場面</li> <li>・ 話者という概念を思い起こさせ、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>では話者の転換があることを気づかせる。</li> </ul>
3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エキスパート活動 <span style="float: right;">【協調学習】</span></li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エキスパートA</span> 「僕とちょうはどんな関係だろう。なぜ、盗んでしまったのだろうか」</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エキスパートB</span> 「エーミールはどんな人物か。なぜ、このような描かれ方をしているのか」</li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エキスパートC</span> 「謝罪にいった場面で、僕とエーミールのやりとりを行動を中心に読もう。なぜ、僕は、あやまれなかったのか」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各エキスパートで取り組む学習方法が違うのでワークシートの説明をする。</li> <li>・比喩表現や、漢語や短文が多く用いられている効果について話し合わせる。</li> <li>・朝、昼、夏など明るい時間帯にしてあるのはなぜだろうかを考えさせる。</li> <li>・エーミールのちょうの取り扱い方、持っている道具の表現、エーミールの人物像を描いた表現を選び、プラスの印象を受ける言葉・マイナスなどの印象を受ける言葉に着目 →話者は誰か。話者が「エーミール」になると、どうなるか話し合わせる。</li> <li>・謝罪にいった場面では、「僕」は謝罪の言葉を口にしていなかったことに気付かせる。</li> </ul>
5  (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジグソー活動 「僕」が、「ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった」理由をそれぞれの視点から説明しよう。 <span style="float: right;">【協調学習】</span></li> <li>・クロストーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち寄った人物像を話し合い、課題に取り組ませる。その際にエキスパートで使った資料を見せながら、説明する。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> の場面で、<u>エーミールになって、その日の夜、またはその後</u>を書く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人</span></li> <li>・書き終えたら、班で読み合い、感想をいう。 <span style="float: right;">【一斉】</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できた作文は、本にして全員の作品が読めるようにしておく。(冬休み)</li> </ul>